

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン

国内子ども支援の現場から

みんなのへやの
クリスマス

ワールド・ビジョン・ジャパンが2023年の夏から運営している子どもの居場所「みんなのへや」。2024年は計48回開催し、のべ384名が参加しました。参加者が徐々に増えにぎやかになってきています。1年の締めくくりとして、12月18日にクリスマス会を開催。地域の町会会館をお借りし、子ども24名、保護者11名、計35名が参加しました。



©World Vision



©World Vision

子どもたちが作った
クリスマスカードの一部

©World Vision



©World Vision

大好評だったチキンやケーキ

参加者の声(アンケートより)

- チキンがすごくおいしくて、友達がいっぱいで楽しかった
- みんなでクリスマス会を楽しめたことがよかった
- 19時までだったけど、もっと遊びたかった
- 他の保護者とたくさんお話ができ、有意義な時間を過ごせました。お食事也十分に満足で素敵なクリスマス会でした
- 保護者やきょうだいも参加できるので普段のみんなのへやが見られて安心しました

イベントならではの交流や体験

クリスマス会は昨年と同様、みんなのへやに来ている子どもたちと、その友達や家族と一緒に楽しめるよう企画しました。昨年のクリスマス会に比べて参加者が倍近く増え、とてもにぎやかな会となりました。普段のみんなのへやは、水曜と金曜に異なる会場で開催しているため、クリスマス会で初めて会った子どもたち、思いがけず幼稚園以来の再会となった子どもたちなど、大人数の集まりならではの多様な交流が見られました。

工作コーナー(クリスマスカードづくりなど)が大人気で、用意していた机がいっぱいになりましたが、肩を寄せ合い、譲り合いながら楽しむ姿が印象的でした。夕食は普段はお迎えのみの保護者の方も交えて様々なおしゃべりに花が咲く時間となりました。みんなのへや以外のワールド・ビジョン・ジャパンの活動に関心を持ってくださる保護者の方へ、スタッフからお話させていただくなど、有意義な時間となりました。

～スタッフからひとこと～

クリスマス会の感想と共に、保護者の方に普段の子どもたちの放課後の居場所の実情やニーズもお聞きしました。「児童館だと小さい子どもも多くスペースも狭い」「いつも自宅に友人を招いて遊んでいるが、ほぼ毎日4、5人来るのでお菓子代の負担が大きい」といった声や、「みんなのへやのような見守りもセットでしてくれている所が点在していると親も助かります」という嬉しいお言葉もいただきました。2025年もみんなのへやが子どもたちにとって居心地よく、様々な体験ができる居場所になることを目指すと共に、地域の中でそのような居場所が更に増えるよう、私たちにできることから取り組みます。(高橋・山下・須田)

